

FD 関連研修会 参加報告書

主 催	三重大学高等教育創造開発センター
企画名称・テーマ	三重大学公開 FD 「三重大学版初年次教育の展開と検証 —全学生対象の PBL 型教育—」
開催日時<会場>	2012 年 2 月 23 日 (木) <三重大学>
参加者所属	歴史学部 歴史学科

参加報告

1. 研修会の目的

三重大学で行っている PBL 型の初年次教育「4つの力」スタートアップセミナー」の実践報告と、今後の展望に関する討論。

2. 研修の概要

プロジェクトリーダーによる基調講演、およびメンバーによる事例報告、それに関する外部評価者からのコメント、そして課題別に参加者全員がいくつかのグループに分かれて討論を行った

3. 本学の FD 活動における検討課題

PBL 型の初年次教育ということで興味があったので参加した。ただ印象に残ったのは、三重大学の初年次教育が、教育目標および 3 ポリシー (DP・CP・AP) を明確に意識して組み立てられていることである。特に毎回の授業で、教育目標「4つの力」(生きる力・感じる力・考える力・コミュニケーション力) の、どの部分が身につくかを明確に位置付けていること、そして授業内容の振り返りを可視化していることなどが注目される。本学においては、カリキュラム体系がどのように組み立てられているのかを明確化し、学生が授業を通して各科目の位置づけを実感できるようなカリキュラム構成にしていかなければなるまい。

また本学の支援上回生と似たものとして「キャリア・ピアサポーター」の制度がある。ただこれは、必要な科目の履修を義務付けられ、それを履修することによって資格が認定されるという、資格認定の制度となっている。支援上回生の充実に向けて、参照すべき事例だと考えられる。